

## 「キャリア・カウンセリング研究」投稿および執筆規程

「キャリア・カウンセリング研究」（以下、本誌という）は、キャリア・カウンセリング分野における理論的・実証的・方法論的研究、定量的・定性的研究に貢献する未公刊の原著、資料、事例研究、ケース報告、展望、書評などを掲載する。

### 1. 投稿資格

投稿者（投稿論文の第一著者）の資格は、原則として、本学会員に限る。ただし、編集委員会が必要と認めた場合には、この限りではない。

### 2. 投稿原稿の区分

投稿者は投稿原稿の区分（原著、資料、事例研究、ケース報告、展望、書評）を選択することができる。審査は区分ごとに行われる。区分の目安は以下の通りである。

- (1) 原著：キャリア・カウンセリングおよびその隣接領域に関するオリジナルでかつ実証的または理論的な研究論文を掲載する。
- (2) 資料：キャリア・カウンセリングおよびその隣接領域に関する萌芽的研究や内外諸研究の追試的検討、またカウンセリングの技法、理論、制度などに関する新しい提案などを報告する論文を掲載する。
- (3) 事例研究：キャリア・カウンセリング分野におけるカウンセリングの理論・技法などの発展や人間理解の深化に寄与するような実証性を客観的に記載した研究論文を掲載する。
- (4) ケース報告：個人・グループ・機関の問題を解決するうえでキャリア・カウンセリングがどのように活用されたか、その実践上で有益な示唆に富む報告論文を掲載する。
- (5) 展望：キャリア・カウンセリングの最近の重要な課題について、内外の諸研究を広く検討し、その研究状況、主要成果、問題点などを総合的に解説する論文を掲載する。
- (6) 書評：キャリア・カウンセリングおよびその隣接領域に関する公刊された書籍を取り上げ、その内容、主要成果、議論および課題などを総合的に紹介する論文を示す。書評については、取り上げるテーマと執筆者を編集委員会が検討し、依頼する。

なお、理事会の承認を受け、編集委員長の依頼に基づき執筆される論文を依頼論文とする。依頼論文の執筆の体裁等は、本規程に準ずるものとする。

### 3. 投稿原稿の採否および査読等

投稿原稿の採否決定、および修正は編集委員会による審査を経て行われる。編集委員長は、論文の内容・テーマ・方法等を踏まえ、編集委員会の中から1名の査読責任者を決定する。そして、編集委員長と査読責任者の協議を経て、2名の査読者を選任

する。査読は、編集委員会が定める「『キャリア・カウンセリング研究』査読ガイドライン」に則り行われるものとする。なお、書評は査読対象としない。

#### 4. 投稿原稿の構成

(1) 投稿原稿のうち、原著、資料、事例研究、ケース報告、展望の構成は以下の通りとする。

- ①第1ページには、論文の区分、和文の論文タイトルと著者名、所属、英文の論文タイトルと著者名、所属、および著者の連絡先、謝辞だけを記す。ただし、ケース報告については、英文の論文タイトルは必要ない。
- ②第2ページには、和文の論文タイトル、および和文の要約、和文のキーワードだけを記す（著者名は入れない）。
- ③第3ページ以降に、原稿本文が続く。本文の構成は、問題、目的、方法、結果、考察、結論、および引用文献の各部分を含むことを原則とする（著者名は入れない）。
- ④最終ページには、英文の論文タイトル、および英文のアブストラクト、英文のキーワードだけを記す（著者名は入れない）。ただし、ケース報告には英文のアブストラクト、キーワードは必要ない。

(2) 書評の構成については以下の通りとする。

本文はいくつかの節・項に分け、それぞれ適切な見出しをつける。書評については、和文要約、英文のアブストラクト、キーワードは必要ない。

#### 5. 要約とキーワード

和文の要約は500字程度、英文のアブストラクトは100～175語、キーワードは、和文、英文とも3～5語とする。

#### 6. 投稿方法

投稿は、E-mailへの添付ファイルとして送信すること。添付ファイルは、図表も含めてできるだけ1つのファイルにまとめ、Word形式とPDF形式の2種類を作成し、本部事務局のアドレス（info@jacc.or.jp）へ研究活動公表チェックリストを添えて送信すること。本誌への論文投稿に際しては、締切日は特に設けない。1週間以内にメール受領の返信が無い場合は、未着の可能性があるので再送すること。

#### 7. 原稿の作成

原稿はワープロ打ちを原則とする。用紙はA4（縦置き）を用い、1ページは、横40字（全角文字で）×縦30行とする。原稿は、常用漢字、現代かなづかい、算用数字を用い、簡潔かつ明確に記述する。

#### 8. 表の作成

表は、本文と同じA4の用紙を用い、1枚の用紙に1つの表を書く。表には、Table 1、Table 2のように通し番号を付け、表の表題も同じ用紙に明記すること。

## 9. 図の作成

図は、本文と同じ A4 の用紙を用い、1 枚の用紙に 1 つの図を書く。図には、Figure 1、Figure 2 のように通し番号を付け、図の表題も同じ用紙に明記すること。

## 10. 表と図の挿入

表と図の挿入箇所は、本文中に、3 行を用いて以下のように示す。

-----  
Table 1 を挿入  
-----

## 11. 引用文献

引用文献は、本文中では、佐藤（1985）、（佐藤、1985）のように引用し、本文末尾（上記 4 項④の最終ページの直前）に、下記の例に従って、著者のアルファベット順に引用文献リストをつける。なお、この点に関して、詳細は日本心理学会編「執筆・投稿の手びき」2019 年第 2 版第 4 章「投稿原稿の作り方」を参照のこと（ただし、和文の引用文献について、それを英訳したものを記す必要はない）。

(1) 和文の単行本の場合：

杉溪一言(1963). 職場のカウンセリング 誠信書房

(2) 和文の雑誌の場合：

松原達哉(1993). Student Apathy の特徴と研究の動向カウンセリング研究, 26 (2), 163-177.

(3) 欧文の単行本の場合：

Baron-Cohen, S., & Bolton, P. (1993). Autism: The facts. Oxford: Oxford University Press.

(4) 欧文の雑誌の場合：

Folkman, S. (1982). An approach to the measurement of coping. Journal of Occupational Behavior, 3, 95-107.

## 12. 論文区分における文字数と刷り上がり頁数

(1) 原著：17,000 字程度（図表を除く）とし、原則として刷り上がり 10 ページ以内（図表を含む）とする。

(2) 資料・事例研究・ケース報告：14,000 字程度（図表を除く）とし、原則として刷り上がり 7 ページ以内（図表を含む）とする。

(3) 展望および書評：10,000 字程度（図表を除く）とし、原則として刷り上がり 6 ページ以内（図表を含む）とする。

(4) 刷り上がり 1 ページの文字数：すべての論文区分において、刷り上がり 1 ページの文字数はおおよそ 2,200 字とする。

なお、原則とするページを超過する場合には超過分の印刷その他に関する経費は執

筆者の負担とする場合がある。ただし、編集委員会が必要とみなした場合にはこの限りではない。

13. 論文の著作権

本誌に掲載された論文の著作権は、日本キャリア・カウンセリング学会に帰属する。

14. その他

その他については、編集委員会の申し合わせ事項に従う。

15. 規程の改訂

本規程の改訂は、編集委員長が理事会に上程して承認を得るものとする。

附則

制定：2019年 9月 27日

改訂：2022年 4月 1日

改訂：2022年 6月 10日